

草津白根山の火山活動の状況等について

※これは速報値であり、数値等は今後も変わることがある。

※下線部は、前回からの変更箇所。

平成 30 年 1 月 24 日

8 時 30 分 現在

内 閣 府

1. 火山活動等の概要（気象庁情報：1 月 24 日 05 : 00 現在）

○1月23日09時59分頃、草津白根山（本白根山鏡池付近）で噴火が発生。東京工業大学の観測によれば、鏡池付近から1キロメートル以上飛散する噴石を確認。

○09時59分から振幅の大きな火山性微動が継続し、約8分間継続したが、その後の発生はない。火山性微動のあと振幅の小さな火山性地震が多数発生。

○降灰の聞き取り調査の結果、本白根山から北東に約8kmの群馬県中之条町で降灰を確認。

【噴火警報（1月23日11時05分発表）】

○噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ。

○対象市町村等

以下の市町村では、火口周辺で警戒が必要。

群馬県：嬭恋村、草津町

【噴火警報（1月23日11時50分発表）】

○噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ。

○対象市町村等

以下の市町村では、火口周辺で警戒が必要。

群馬県：嬭恋村、草津町

○防災上の警戒事項等

本白根山鏡池付近から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意。ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や他に地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがあるため注意。現地では雪崩が発生したとの情報があり、雪崩にも注意。

2. 被害の状況（消防庁情報：1 月 24 日 8 : 30 現在）

(1) 人的・物的被害

①概要

草津国際スキー場において、噴石による被害発生及びロープウェイの停止に伴い80

名が取り残されたもの（23日17時10分下山完了）

②人的被害

死者1名、重傷3名、軽傷8名

③住家被害

被害情報なし

3. 避難の状況（消防庁情報：1月24日8:30現在）

- ・避難指示、避難勧告の発令なし
- ・避難所開設なし

4. その他の被害状況等

(1) ライフラインの状況

ア 電力（経済産業省情報：1月24日8:00現在）

○東京電力

群馬県：11件（吾妻郡草津町）

※東京電力職員が自衛隊の同行で現場に入り、配電線の断線を確認（雪崩の影響なのか噴石の影響なのか詳細原因は不明）。復旧については、噴火の勢いがおさまり、安全が確認され次第、実施予定。

イ 水道（厚生労働省情報：1月24日7:30現在）

- ・厚生労働省から群馬県、福島県、茨城県、栃木県、長野県及び各県内の水道事業者等に対し、草津白根山の火山活動に関する注意喚起及び被害が発生した場合の円滑な連絡・対応を要請。（1/23）
- ・現時点で被害報告なし

ウ 通信関係（総務省情報：1月24日8:00現在）

	事業者（サービス名）	被害状況等
固定 （注1）	NTT 東日本	・被害なし。
	NTT 西日本	・被害なし。
	NTT コミュニケーションズ	・被害なし。
	KDDI	・被害なし。
	ソフトバンク	・被害なし。
携帯電話等 （注2）	NTT ドコモ	・2局停波 （群馬県：2局） ※以下の一部でエリア支障があることを確認。 あがつまぐんくさつまち 吾妻郡草津町（白根火山ロープウェイ山頂付近及び湯釜付近） ※役場エリアについてはサービス影響なし。
	KDDI (au)	・3→2局停波 （群馬県：3→2局） ※以下の一部でエリアカバーされていないことを確認。 あがつまぐんくさつまち 吾妻郡草津町（白根火山ロープウェイ山頂付近含む）、つまごいむら ※役場エリアについてはサービス影響なし。

ソフトバンク	【携帯電話】 ・1局停波 (群馬県：1局) ※以下の一部で利用しづらいことを確認。 あがつまぐんくさつまち 吾妻郡草津町(白根火山ロープウェイ山頂駅付近) ※役場エリアについてはサービス影響なし。 【PHS】 ・被害なし。
UQコミュニケーションズ	・被害なし。
ワイヤレスライフ ランニング	・被害なし。

○主な原因は停電及び伝送路断

(注1) 事業者が把握可能な範囲の情報を記載

(注2) 携帯電話等事業者が設置している基地局数は各社で異なり、停波中の基地局数は、サービス影響の規模を直接表すものではない

<防災行政無線>

○都道府県防災行政無線

被害なし

○市町村防災行政無線(同報系)

被害なし

(注) 自治体が把握可能な範囲の情報を記載

(2) 道路関係(国土交通省情報：1月24日6:00現在)

ア 補助国道

冬期事前通行規制：1区間(積雪)

・国道292号 平成29年11月15日～ L=23.1km

イ 都道府県道・政令市道

冬期事前通行規制：1区間(積雪)

・県道 牧千俣線 平成29年11月15日～ L=3.0km

(3) 医療関係(厚生労働省情報：1月24日7:30現在)

ア DMATの活動状況

10:30 群馬県災害対策本部設置

11:10 群馬県DMAT調整本部設置

11:36 EMISSを災害モードへ変更

21:37 群馬県DMAT調整本部を終了

22:00 EMISSの災害モードを解除

・DMATは1月23日19:40活動終了。(最大計20隊移動及び活動)

DMATの参集拠点および活動拠点は西吾妻福祉病院。

・ドクターヘリは近隣からの応援を含めて計2機活動(群馬、栃木)。

群馬ドクターヘリは前橋赤十字病院へ、栃木ドクターヘリは群馬大学医学部附属病院へ患者搬送。

・現時点で、1名の死亡患者と軽症5名の帰宅者以外の患者6名は以下の病院へ搬送。
 原町赤十字病院、高崎総合医療センター、済生会前橋病院、前橋赤十字病院、群馬大学医学部附属病院、浅間総合病院

(4) 社会福祉施設等関係（厚生労働省情報：1月24日7:30現在）

ア 高齢者関係施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

イ 障害児・者関係施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

ウ 児童関係施設等の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

(5) 放送関係（総務省情報：1月24日8:00現在）

- ・被害情報なし。

(6) 郵政関係（総務省情報：1月24日8:00現在）

- ・被害なし。

(7) 農林水産関係（農林水産省情報：1月23日17:00現在）

- ・現時点での報告無し

(8) 国立公園関係（環境省情報：1月24日8:30現在）

- ・万座自然保護官が、情報収集に努めている。

- ・長野自然環境事務所ホームページ

(<http://chubu.env.go.jp/nagano/emergency/2018/01/123.html>)に、噴火情報を掲載。

- ・付近の直轄施設は本白根線道路（歩道）のみであり、当該歩道は冬季閉鎖中。

5. 政府の主な対応

(1) 官邸の対応

- ・1月23日 11:41 官房長官指示

被害者の捜索と救出作業を早く行うこと。

11:50 情報連絡室設置

12:05 官邸連絡室改組

(2) 関係省庁災害対策会議等の実施

- ・1月23日 14:00 関係省庁災害対策会議

6. 各府省庁の主な対応

(1) 内閣府の対応

- ・内閣府情報連絡室設置（1月23日11:05）

- ・内閣府情報対策室設置（1月23日11:50）

- ・内閣府防災ツイッター等により、国民への注意喚起を実施（1月23日）

(2) 警察庁の対応

- ・警察庁及び関係県警察では、関連情報の収集等を実施中

- ・埼玉県警ヘリが11時15分にフライト。ヘリテレ映像を警察庁、官邸に配信（11:31～12:22）

- ・警察庁は、災害対策室長を長とする災害情報連絡室を設置（11:50）
- ・群馬県警では、本部長を長とする災害警備本部を設置(1/23)
- ・警察庁は、警備課長を長とする災害警備連絡室に改組（1/23 12:05）
- ・群馬県警管区機動隊 20 人、県機 15 人の計 35 人が現場臨場(1/23)
- ・現場では、群馬県警管轄署員（警備課長以下 17 人）が活動(1/23)
- ・群馬県警では機動通信隊モバイル班がモバイル映像を警察庁、官邸に配信（1/23 12:43～18:00）
- ・埼玉県警ヘリが 14 時 09 分にフライト。ヘリテレ映像を警察庁、官邸に配信(1/23)
- ・山麓駅に現地指揮所（県警本部危機管理室長以下）を設置。山頂の滞留者については、スノーモービル 5 台及び圧雪車 4 台を活用し、17 時 10 分、下山完了（距離約 2.3km、1 回の搬送人員 18 人前後）(1/23 14:50 開始)
- ・群馬県警 47 人（機動隊 10 人、管区機動隊 25 人、署員等）が、専門家による再噴火可能性に関する判断後、消防等と合同で草津国際スキー場本白根ゲレンデ清水沢コースの搜索を実施予定（1/24 9:00～）
- ・群馬県機動警察通信隊モバイル班は、モバイル映像を警察庁、官邸に配信予定（1/24 9:00～）

(3) 消防庁の対応

1 月 23 日 10 時 30 分 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第 1 次応急体制）

○消防機関等の活動状況

①地元消防機関の活動

1 月 23 日 10 時 06 分 吾妻広域町村圏振興整備組合消防本部覚知
 →7 隊出動（指揮隊 1、ポンプ隊 1、救急隊 5）
負傷者の救護及び取り残された人の搜索、救出活動を実施
 17 時 10 分 救出完了

②県内消防応援の活動

1 月 23 日 11 時 10 分 県内消防応援の出動決定（近隣 4 消防本部）
 →9 隊出動（指揮隊 2、救助隊 2、救急隊 4、後方支援隊 1）
負傷者の救護及び取り残された人の搜索、救出活動を実施
 17 時 10 分 救出完了
 18 時 33 分 活動終了

③相互応援の活動

1 月 23 日 10 時 35 分 埼玉県消防防災航空隊の出動要請
 11 時 40 分 上空からの情報収集活動等を実施
 12 時 33 分 気象悪化のため現場離脱、活動終了

(4) 防衛省の対応

ア 災害派遣の概要

- (ア) 要請日時 平成 30 年 1 月 23 日 (火) 10 時 51 分
- (イ) 要請元 群馬県知事
- (ウ) 要請先 陸上自衛隊第 12 旅団長 (相馬原)
- (エ) 要請の概要 人命救助等
- (オ) 発生場所 群馬県吾妻郡草津町草津国際スキー場

イ 災害派遣までの経緯

平成 30 年 1 月 23 日 (火)、群馬県の草津白根山で噴火が発生するとともに、群馬県吾妻郡草津町のスキー場において雪崩が発生し、負傷者が発生した。このため、同日 10 時 51 分に群馬県知事から第 12 旅団長 (相馬原) に対して、人命救助等に係る災害派遣要請があった。

ウ 防衛省・自衛隊の対応

- (ア) 活動部隊 陸自 第 12 旅団司令部 (相馬原)、第 2 普通科連隊 (高田)、第 13 普通科連隊 (松本)、第 30 普通科連隊 (新発田)、第 48 普通科連隊 (相馬原)、第 12 偵察隊 (相馬原)、第 12 化学防護隊 (相馬原)、第 12 ヘリコプター隊 (相馬原)、第 12 施設隊 (新町)、第 125 地区警務隊 (相馬原)、東部方面通信群 (朝霞)、東部方面航空隊 (立川)、自衛隊群馬地方協力本部
- 空自 中部航空方面隊司令部支援飛行隊 (入間)
- (イ) 活動規模 人員 約 280 名
車両 約 75 両、航空機 9 機
その他 L0 人員 8 名、L0 車両 4 両

(ウ) 主な対応状況

【23日(火)】

- 10時51分 群馬県知事から第12旅団長に対して、人命救助等に係る災害派遣要請。
- 10時55分 第12旅団司令部のL0(人員2名、車両1両)が情報収集のため群馬県庁に向け駐屯地を出発。
- 11時00分 第12偵察隊の部隊(人員4名、車両1両)が草津国際スキー場に向け駐屯地を出発。
- 11時02分 東部方面航空隊のUH-1×1機(映像伝送機)が情報収集のため駐屯地を離陸。
- 11時12分 第12旅団長以下2名がOH-6×1機により草津国際スキー場に向け駐屯地を離陸。
- 11時20分 第48普通科連隊のFAST-Force(人員約20名、車両約3両)が草津国際スキー場に向け駐屯地を出発。
- 11時24分 自衛隊群馬地方協力本部のL0(人員1名、車両1両)が情報収集のため群馬県庁に向け出発。

東部方面航空隊のUH-1×1機（中継機）が情報収集のため駐屯地を離陸。

11時42分 防衛大臣指示

1. 関係機関と緊密に連携し、早急に被災状況の把握に努めること。
2. 被災者の救助に万全を期すこと。

第2普通科連隊のFAST-Force（人員約30名、車両約5両）が草津国際スキー場に向け駐屯地を出発。

第2普通科連隊のLO（人員5名、車両2両）が情報収集のため草津町役場に向け駐屯地を出発。

11時46分 第48普通科連隊長以下5名がUH-60×1機により草津国際スキー場に向け、駐屯地を離陸。

12時00分 第13普通科連隊のFAST-Force（人員約30名、車両約10両）が草津国際スキー場に向け駐屯地を出発。

12時27分 第12ヘリコプター隊のCH-47×1機が第12偵察隊等の部隊（人員約20名）の人員輸送のため駐屯地を離陸。

12時50分 第12偵察隊及び第12対戦車中隊の部隊（人員約20名、車両4両）が草津国際スキー場に向け駐屯地を出発。

13時10分 中部航空方面隊司令部支援飛行隊のT-4×1機が情報収集のため基地を離陸。

13時13分 第12ヘリコプター隊のCH-47×1機が第48普通科連隊等の部隊（人員約20名）の人員輸送のため駐屯地を離陸。

13時15分 第12化学防護隊の部隊（人員2名、車両1両）が草津国際スキー場に向け駐屯地を出発。

13時20分 第48普通科連隊の部隊（人員約90名、車両40両）が草津国際スキー場に向け駐屯地を出発。

13時30分 第30普通科連隊の部隊（人員約5名、車両4両）が草津国際スキー場に向け駐屯地を出発。

13時40分 第12後方支援隊の部隊（人員3名、車両1両）が草津国際スキー場に向け駐屯地を出発。

13時48分 第12ヘリコプター隊のUH-60×1機が人命救助のため駐屯地を離陸。

14時05分 第30普通科連隊の部隊（人員約30名、車両約5両）が草津国際スキー場に向け駐屯地を出発。

15時04分 第12ヘリコプター隊のUH-60×1機が人命救助のため駐屯地を離陸。

18時15分 群馬県知事から撤収要請を受け、人命救助活動等を終了。

※自治体等と協力し、約80名の救助が終了したことにより撤収要請があったもの。

※ 自衛隊のヘリコプターによる救助者数：14名

(5) 厚生労働省の対応

- ・厚生労働省災害情報連絡室設置（1月23日 11:50）

(6) 農林水産省の対応

ア 職員の派遣

- ①東森林管理局及び吾妻森林管理署から計画保全部長ほか6名を現地スキー場の救出活動拠点地に派遣（平成30年1月23日）

イ 対策本部・各種会議の開催等

- ①関東森林管理局に災害対策本部を設置（平成30年1月23日）
- ②「平成30年草津白根山の噴火に係る関係省庁災害対策会議」に大臣官房及び林野庁の職員が出席（平成30年1月23日）

(7) 国土交通省の対応

- ・国土交通省として、引き続き被害の情報の収集・把握に努める。
- ・防災ヘリコプターにより草津白根山周辺の現地調査を実施（1/23～）
- ・関東地方整備局において、監視カメラを2台設置（1/23）

○リエゾン（情報連絡員）派遣【のべ5人・日派遣（1/23～）】

- ・関東地方整備局より、群馬県庁、草津町、嬭恋村へ、のべ5人派遣（1/23～）。

○TEC-FORCE等の派遣【のべ8人・日派遣（1/23～）】

- ・関東地方整備局 のべ4人・日派遣（1/23～）

○災害対策用機械等出動状況【のべ9台・日派遣（1/23～）】（1/23 5台派遣）

- ・関東地整より、対策本部車2台、照明車2台、衛星通信車1台 計5台派遣中。

○降灰状況等を把握するため、土砂災害専門家（東京農工大学白木准教授、国土技術政策総合研究所から1名、土木研究所から1名、計3名）を現地へ派遣（1月24日予定）

(8) 国土地理院の対応

- ・火山災害対策用図等を関係機関へ提供及び公開（1/23）

(9) 環境省の対応

- ・関東及び中部地方環境事務所において、災害廃棄物の発生状況について地方自治体へ確認中。

(10) 気象庁の対応

- ・噴火警報発表（噴火警戒レベル2（火口周辺規制）に引き上げ）（1月23日 11時05分）
- ・噴火警報発表（噴火警戒レベル3（入山規制）に引き上げ）（1月23日 11時50分）
- ・降灰予報（定時）を13時、14時に発表。以降、3時間ごとに発表。
- ・気象庁本庁記者会見（1月23日 13時00分）
- ・火山活動解説資料発表（1月23日 13時00分、18時00分）

- ・ 火山の状況に関する解説情報発表（1月23日16時40分）
- ・ 1月23日、気象庁職員を現地に派遣。付近の降灰等の調査及び本白根山付近を監視するための観測機器の設置準備。また1月23日、ヘリでの状況調査（関東地方整備局の協力による）を実施。

7. 都道府県の災害対策本部等の設置（消防庁情報：1月23日18:00現在）
【群馬県】1月23日 10時30分 災害対策本部設置